

## 第27回埼葛人権を考えるつどい ～出会い ふれあい 思いやり～

問合せ:企画財政課 人権推進担当 ☎ 991-1815  
教育文化振興課 社会教育担当 ☎ 991-1873

21世紀は人権の世紀といわれる中で、今年も、埼葛12市町の全児童・生徒が参加し、人権に思いを寄せたメッセージを形にした「10万人メッセージ」や「10万羽の折鶴」を会場内に展示します。平成23年度から毎年作成している「10万羽の折鶴」は、今年度で823,136羽になります。ぜひ、ご来場ください。

■日時/10月11日(木)午前9時～午後4時 ※受付:午前8時30分～

■場所/春日部市民文化会館(春日部市粕壁東2-8-61)

■内容/児童・生徒によるソーラン、神楽、市民団体による民族楽器演奏、認知症予防体操、特別支援学校及び特別支援学級・埼葛12市町の人権に関する展示、福祉施設等の物品販売など

【松伏町からの出演団体】埼玉県立松伏高等学校・劇団「なのはな」・松伏町女性消防団「レッドエンジェルズ」

【松伏町からの出店団体】松伏町立かるがもセンター・社会福祉法人銀杏会ゆめみ野工房・地域活動支援センター心

■費用/入場無料 ■主催/人権啓発推進埼葛実行委員会

## 松伏町史編さん事業の報告とご協力依頼

問合せ:教育文化振興課 社会教育担当 ☎ 991-1873

教育委員会では松伏町の原始時代から現代に至る歴史を調査して、「松伏町史」にまとめ、未来に残す町史編さん事業を実施しています。

■事業報告(平成30年3月から8月開催分)

町史編集委員会(4月 刊行物名称決定など)、考古部会(5月・7月 土器や石器の実見など)、古代中世部会(5月・7月 資料編章立て協議など)、近世部会(5月 執筆分担及び資料編の章立て協議)、近現代部会(5月・6月・7月・8月 資料選択作業など)、文化財部会(3月・6月・7月 寺院補足調査など)、自然部会(3月・6月 ボーリングコア観察など)、考古自然合同部会(5月 自然堤防範囲の捉え方の整合性協議)、考古古代中世合同部会(7月 出土板碑などの扱い協議)、その他(熊野神社の中世古文書・埋納銭年代測定委託)

■松伏町史に使うため古いものの寄贈をお願いします(寄託・一時預かりでも構いません)。

皆さんが所蔵の古文書(昭和40年代頃まで)、写真、広報(昭和43年以前)などにより松伏町史を作り上げます。古文書については、一点ごと専用封筒に入れて文書名を付記して目録とともにご返却します。

■寄贈者・寄託者紹介(7月受付分まで)

金杉地区 鈴木庄衛様(写真寄託)

※右の写真の神社は、現在の野田橋近辺にあったもので、「大飯島」と呼ばれた豪農の氏神である稻荷神社でした。この神社は大正3年から始まる江戸川河川改修により移転を余儀なくされ、この後に埋め立てられた旧庄内古川の当時あった内川橋たもとまで道路を経て、そこからは庄内古川を船に乗せて運びました。この神社は、その後金杉村社を経て、現在の金杉神社本殿となりました。



大正4年7月に現在の金杉神社本殿を現在地へ移転させた時の様子

町長コラム

### 読書＋行動＝感動



鈴木 勝

私が本の素晴らしさに出合ったのは高校を卒業するときであり、当時の部活の顧問が石牟礼道子著の「苦海浄土 わが水俣病」をプレゼントしてくれました。

現在、私は月に2冊の本を読むように心がけており、本を読むことにより人生の方向付けの羅針盤としている。

先日読んだ、笹川陽平著の“紳士の「品格」”の

中では、本ばかり読んでいる人に大成した人は少ない、と記されていた。また、別の本にも、「読書のみではなく、行動を起こすことが必要だ」と記されていた。

相田みつを氏の言葉にも「感動とは感じて動くと書くんだなあ」とある。感じるのみではなく、行動を伴わなければ意味がないとのことであり、行動を起こすエネルギーを得て初めて「感動」となる。

子どもたちには、沢山の本と出会いつつも、理論優先にならず、その理論に行動を伴える人に育ってほしいと願っています。